

地球の恵みを知り、災いに備える

和歌山から始まる世界への挑戦

いま、日本と世界は大きな転換期を迎えています。
南海トラフ地震は確実にやってきます。また異常気象が「異常」
でなくなってきています。

これまで、地球掘削科学は、このような地球規模の課題に大きな
貢献をしてきました。半世紀以上続いてきた、この「国際深海
科学掘削計画（DSDP/ODP/IODP）」があと半年で終了します。

その志を継ぐべく、新たな掘削プログラムを立ち上げるための
国際研究会が、ここ、南紀熊野で開催されます。

これを記念し、講演会を開催いたします。

参加無料！

2024 3月20日 水祝

15:00～17:00（14:00 開場）

地震のしくみ 楽しく学ぼう！展示も同時開催！

和歌山県新宮市
丹鶴ホール

司会は私たち！



森 まりか



熊野家 三九郎

※手話通訳・要約筆記あり

講演内容

講演① 新たな国際深海科学掘削計画の発足と
国際ワークショップ in 和歌山

講演者：木下 正高（東京大学地震研究所）
益田 晴恵（大阪公立大学）
アンジェロ・カメルレンギ
（イタリア国立海洋物理学研究所）

講演② 海底を掘って手がかりをつかめ！
地球深部探査船「ちきゅう」で挑む
地震・津波調査の今！

講演者：江口 暢久（海洋研究開発機構）

講演③ 和歌山県の温泉と地震
ープレートテクトニクスに起因する
自然の恵みと災害ー

講演者：益田 晴恵（大阪公立大学）

共催：日本地球掘削科学コンソーシアム（J-DESC）、新宮市・新宮市教育委員会、和歌山県、
南紀熊野ジオパーク推進協議会、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）

協力：和歌山県立自然博物館

お問い合わせ：J-DESC（jdesc@jamstec.go.jp）、丹鶴ホール（0735-29-7223）

プログラム

15:00-15:10

主催者ご挨拶（新宮市長 田岡 実千年）

15:10-15:40

講演①

新たな国際深海科学掘削計画の発足と 国際ワークショップ in 和歌山

講演者：木下 正高（東京大学地震研究所）
益田 晴恵（大阪公立大学）
アンジェロ・カメルレンギ
（イタリア国立海洋物理学研究所）

現在の国際深海科学掘削計画（IODP）は2024年9月に終了し、新たなフェーズを迎えます。新しい国際枠組みは日本と欧州がリードして構築準備を進めており、そのための重要な国際ワークショップが、3月18日～20日に那智勝浦町体育文化会館にて開かれます。このワークショップの意義や、行われたことを、日欧のワークショップ主催者が座談会形式でご紹介し、地球掘削科学分野の歴史的瞬間を参加者のみなさまと共有します。

15:40-16:10

講演②

海底を掘って手がかりをつかめ！ 地球深部探査船「ちきゅう」で挑む 地震・津波調査の今！

講演者：江口 暢久（海洋研究開発機構）

紀伊半島は、南海トラフ巨大地震の影響を大きく受けやすいと想定される地域です。「ちきゅう」は南海トラフをはじめとした地震発生帯の掘削調査に取り組み、南海トラフの海底下の動きを監視する機械を設置しており、2024年には日本海溝で地震や津波の痕跡の調査を予定しています。「ちきゅう」のこれまでの歩みと、これらのプロジェクトについてご紹介します。

16:10-16:40

講演③

和歌山県の温泉と地震 —プレートテクトニクスに起因する自然の恵みと災害—

講演者：益田 晴恵（大阪公立大学）

活火山のない和歌山県には古くから有名な温泉地が多くあります。その熱源は紀伊半島の下に沈み込む海洋プレートと関係しています。この講演では温泉湧出をもたらすダイナミックな地球の動きを紹介します。

16:40-16:45

閉会のご挨拶（海洋研究開発機構 理事 倉本 真一）

講師紹介



木下 正高
東京大学地震研究所



益田 晴恵
大阪公立大学



アンジェロ・カメルレンギ
イタリア国立海洋物理学研究所



江口 暢久
海洋研究開発機構